



## ごあいさつ

明けましておめでとうございます。  
旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

昨年、元日に発生した能登半島地震から一年が経過しました。  
能登地区の復興まだまだ道半ばであり、  
息の長い復興支援が必要となりますが、  
金沢も同様に被災地であり、国や県とも連携し、  
必要な措置をお願いしてきました。  
予算や制度の準備なども整いつつあり、  
本年は本格的な復興実施となってまいります。

私は、この地震の復旧に向けた取り組みはもとより、  
市議当選以来取り組んできた、地域の安全確保、デジタル、公共交通、  
経済活性化、インバウンド、文化・スポーツ推進など全力で取り組み、  
住みやすく、誇りの持てる金沢・地域の実現を目指します。

本年も、市民の皆様の声に耳を傾け、市政に反映させていく所存です。  
どうぞ、お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。  
よろしくお願い申し上げます。



金沢市議会議員 **柿本 章博**

各種 SNS などでも最新の情報を発信しております。



インスタグラム



フェイスブック



エックス  
(旧ツイッター)



公式ライン



ホームページの内容を拡充しました。  
<https://kakimotoakihiro.com/>

## 柿本あきひろ Profile

1967年 金沢市生まれ、諸江町小、浅野川中、金沢泉丘高、東北大卒業、東北大院修了  
1992年 (株)PFU入社(7年間の米国駐在)、2023年 (株)PFU退社、金沢市議会議員選挙で初当選  
建設企業常任副委員長 公共交通特別委員 自由民主党金沢市議員会所属(事務局長)

柿本あきひろ 市政報告レポート  
**REPORT**

発行者 柿本あきひろ事務所  
〒920-0015 金沢市諸江町上丁206-9  
TEL(076)201-8884 FAX(076)201-8682  
✉ info@kakimotoakihiro.com

事務所公式キャラクター  
かっきー君



## トピックス

### 1 第10回日台交流サミットに出席（7.29～30）

黄偉哲台南市長との面談の機会を頂き、能登半島地震の支援お礼と金沢市と台南市の友好関係を深化させていくことなどを話し合い、台南市議会の邱莉莉議長にもご挨拶の場をいただいた。

また、烏山頭ダムとその関連施設を訪問。金沢市が誇る偉人八田與一技師の大きな功績に触れる事ができ、彼の尽力に改めて感動するとともに、台湾の農業発展におけるダムの重要性を深く感じた。また、台湾を代表する台北101でチケットが国内、国外向け二重価格で問題なく運用されている点を確認。金沢市の採用の可能性を感じ、議会で質問した。 **Q14をCheck**



黄偉哲台南市長との円卓会議



邱莉莉台南議長と

### 2 初の市政報告会を開催（5.12、6.2）

議員生活1年を迎え、これまでの活動、市政状況、今後目指す事などをご説明させていただいた。



### 3 建設企業常任委員会の副委員長に就任

同委員会は、道路、上下水道、河川、公園など、市民の公共インフラの基盤を支える重要な委員会であり、委員長をお支えし、運営に気を配りつつ、委員各位の声を反映させていく。

また、特別委員会は、公共交通特別委員会所属、あわせて、議会活性化推進会議委員も拝命した。



### 4 諸江地区町会連合会 第4回タウンミーティング（6.16）

本ミーティングも2年目となり、質問、意見、議論も多岐に渡った。ミーティング終了後、抽出した課題に対して市担当当局と調整し、以下対応を実施。

- ① 北安江下丁の未市道化道路の市道格上げ条件調査
- ② 北安江本丁の危険なフェンスの修繕
- ③ 諸江児童館付近の高架橋の除草対応
- ④ 外国人留学生の自転車の安全に関し、受け入れ専門学校への注意喚起申し入れ
- ⑤ 海抜や避難所看板の設置について調査



詳細は、連町会報誌を  
参照ください。



### 5 地元神社の修復と絵馬調査

元日の神社で被災した地元の大切なコミュニティ施設である少彦名神社の復旧工事を地域の皆様と共に実施。被害が大きく、多額の費用が必要となることから、県の復興基金の活用を求める議会質問を行った。 **Q5-7をCheck**

また、修理工事に合わせて、市の文化財保護課と共に絵馬の調査も実施

### 6 街頭演説（6月～9月）

主に北部地区で計8回の街頭演説を行う。市政の状況、能登半島地震復興への取り組みなどを説明



## 議会、委員会活動

### ● 6月定例会議会 (6.11-25)

総額115.6億円の補正予算など市長提出議案22件を可決。また、議員提出議案7件を可決

### ● 9月定例会議会 (9.2-17)

総額25.4億円の補正予算など市長提出議案23件と議員提出議案8件を可決、請願1件を採択。また、一般質問で登壇 (9.12)



### ● 建設企業常任委員会 (4.30、5.14、6.24、8.13、9.14)

各種提出議案の審査、また、以下市政課題などを調査

- ・「令和6年能登半島地震」の被害や復旧
- ・「木の文化都市・金沢」関連事業
- ・金沢市水害ハザードマップ
- ・地域連携空き家等活用補助金交付要綱の一部改訂
- ・盛土規制法(通称)に基づく規制区域
- ・企業局 夏休み子ども教室
- ・金沢エナジー株式会社の経営状況 等

### ● 建設企業常任委員会行政視察 (7.22-24)

**仙台市:**下水道事業での「地中可視化サービス」の成果について

**郡山市:**「コロナビこおりやま」による市民投稿型の道路等の破損状況収集について

**宇都宮市:**施工管理業務等へのウェアラブル端末等の導入について

### ● 公共交通特別委員会 (6.4、7.4、9.18、9.25)

今年度のテーマを設定し、交通政策課、北陸鉄道(宮岸社長他)、流通経済大学 板谷教授から意見聴取



### ● 議会活性化推進会議 (6.4、7.9、8.5、9.25)

- ・議員の各種手続きのオンライン化
- ・政務活動費の電子データによる報告
- ・災害訓練のオンライン参加
- ・その他、議会基本条例運用指針の見直し 等の議論

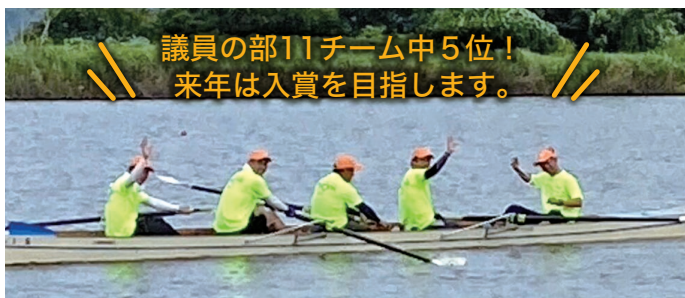
## 金沢市主催、関連事業

### ● 本市事業や開発に関係する団体の総会や説明会等

- ・金沢都市圏新交通導入議員連盟 総会 (4.24)
- ・河北潟周辺議会連絡協議会 総会/講演会 (5.16)
- ・浅野川下流かわづくり協議会 総会 (5.31)
- ・金沢開発協議会 常任理事会、総会 (7.8)
- ・国道157号整備促進協議会 事業説明会/総会 (8.2)
- ・金沢福光連絡道路整備促進期成同盟会 (8.22)

### ● 各種スポーツ事業、大会

- ・金沢城リレーマラソン、選手参加 (5.26、9.29)
- ・ウォーキングフットボール大会、選手参加 (6.30)
- ・第37回つばたレガッタ、選手参加 (8.18)



- ・能登半島地震復興応援チャリティーマッチ (4.20)、ツエーゲン金沢観戦 (9.14)、試合前後の金沢スタジアム周辺の交通状況を確認し議会質問へ **Q 8-10を Check**

### ● 「金沢IT部活アカデミーベンチャー」キックオフ (6.9)

3月議会で提案したIT部活の上位組織が発足

### ● その他参加した事業

- ・ガルカンチュア音楽祭 (5.5)、
- ・かなざわフェアトレードフェスタ2024 (5.11)、
- ・金沢市水防訓練 (5.26)、
- ・IT部活入部式 (5.26)、
- ・百万石まつり 百万石踊り流し (6.1)、
- ・水道フェスタ (6.2)、
- ・学校一斉開放訪問 諸江町小 (6.5)、浅野川中 (6.7)、
- ・金沢市消防団連合検閲 (7.7)、
- ・犀川大橋 百寿祭 (7.7)、
- ・谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館フォーラム (7.13)、
- ・KANAZAWA JAZZ STREET 2024 (9.14)



## 地域、町会・町内関連事業

### ● 地域の歴史、文化を継承する2団体の会長に就任

#### 諸江住吉おどり保存会:

地元の踊りを保存し、次世代へ継承する。百万石踊り流し(6.1)、諸江町小学校への課外授業(6.18)、駅西夏まつり(7.20)、第36回諸江公民館夏まつり(8.24)等で日々の練習を披露

#### 天保義民顕彰保存会:

天保義民の義挙を讃仰し、遺徳を顕彰、保存する。第41回天保義民祭(7.20)、五箇山慰霊碑訪問(7.26)等を実施

### ● 諸江町小学校 獅子舞小学校課外授業(9.24)

3年生を対象に地元の獅子舞の歴史や特長を紹介



### ● 百万石まつり 提灯行列(5.31)



3月議会質問での要望が実現し、  
今年も金沢スタジアムの「ピッチ」からスタート

### ● 公民館、地区自主防災会、防災士会や各町会の事業(総会、役員会、夏祭り)から、皆様のご要望を受け、市担当部署との調整、また議会質問へ繋げた

Q 1~3を Check

Q 11~13を Check



要望の対応事例(用水への安全柵設置)

## その他活動

### ● スターダスト☆レビュー様 能登訪問動向(8.1)

スターダスト☆レビュー様とご縁があり、平蔵県議、小間井市議と共に珠洲市、輪島市、能登町に義援金を届けに訪問。その他、能登地区へは一般ボランティアとしても復旧作業に参加



### ● NTT技術研究所 /

#### ドコモ本社 訪問(5.14)

次世代通信(IOWN)の基盤技術や具体事例、ドコモ本社でFeel tech&XRの体験と説明を受けた。



### ● 行政視察(宮崎市、知覧特攻平和館、志布志市)(5.21-23)

#### 宮崎市:

まちなか3,000プロジェクトで、中心市街地に3,000人の雇用と活性化を実現。その内容を調査

#### 知覧特攻平和会館:

展示を通し、特攻という人類史上類のない作戦を実施した事実を理解し、戦争の恐ろしさや平和の大切さについて認識を高めた。

#### 志布志市:

使用済みおむつの再資源化事業を通して、本市のごみ減量やリサイクル推進の方策を検討



### ● 自治体情報フェア2024(東京、5.15)、MEX金沢/e-messe kanazawa(5.17)の展示会で、自治体DXやIT系の最新情報を取得

### ● 各種勉強会、オンラインセミナーへ積極的に参加 取り組んでいるテーマ:

北陸新幹線敦賀以西延伸、自治体DX、人口減少・高齢化、生成AI、次世代通信技術、公共交通、自動運転、防衛・国防、金沢の文化/歴史 など



質問の映像は  
こちらをご覧ください。



9/12 9月定例月議会で、一般質問に立たせていただきました。質疑の内容は以下の通りです。

## 金沢方式の見直しについて

**Q1** 来年4月の見直しに向け、金沢方式あり方検討懇話会が開催されているが議論の内容を伺う。

**A1** 金沢方式は地域コミュニティを支える重要な要素で継続していくべきであり、市民への周知、広報、地元負担、地域活動の担い手が課題であるとの意見があった。見直しについては、積極的な周知広報、若い世代の地域活動参加の工夫、地元負担の軽減や施設整備等今後のシミュレーションの必要性などの意見があった。(村角都市政策局長)

**Q2** 懇話会の議論も踏まえ、市長は金沢方式をどのように考えているか。

**A2** 懇話会では、自分たちの地域は自分たちで守ることが、その根本にあるという意見があった。この考え方のもと、地域が一定の負担をすることによって、公民館など地域活動の核となる施設を設置し、住民主体で様々な活動を行うことで、地域の連帯を強め、協働を育むために大きな役割を果たしてきた。この考えが本市におけるまちづくりの文化の一つというふうに捉えている。(村山市長)

**Q3** 金沢方式の対象である公民館、児童館、消防団は、市の負担額が3/4(75%)、地元負担は1/4(25%)である。この比率を見直すのか、また、具体的な数字があるのか伺う。

**A3** 公民館、児童館、消防分団の施設整備費、そして、公民館の運営費についても、軽減したいと考えている。今後開かれる懇話会で、見直しに向けて取り組むべき事項、今後想定される施設整備に係る地元負担、本市財政への影響を含めて提示し、議論したい。なお、具体的な負担比率については、懇話会から提言をいただき、それを踏まえ、来年度予算で提示したい。(村山市長)

**Q4** 市が3/4、地元が1/4を負担する補助制度は、地域のコミュニティセンター、ゴミステーション、生活道路、除雪関連等があり、これらの制度も見直しを強く要望したいが、市長の考えを伺う。

**A4** これらの補助制度は、地域の負担を軽減することで、その整備導入を促進するということを目的と

しており、金沢方式の地元負担とは趣旨が異なり、今般の見直しと連動するものではない。一方で、補助制度については、社会経済情勢の変化などを捉えながら、常に見直しを検討すべきものと考えている。必要なものは、毎年の予算編成の中で見直しを検討していきたい。(村山市長)

## 地域コミュニティ施設の再建に向けた能登半島地震復興基金の活用について

**Q5** 今回の地震では、市内の寺社や集会所などのコミュニティ施設も大きく被害を受けている。被害の規模やその実態について、どのように把握しているか。



地震直後の地元神社

**A5** 石川県神社庁が集計した被害状況数一覧や、地元関係者からの相談や問い合わせなどから、被害状況の実態把握に努めている。(山下市民局長)

**Q6** これらの被災した施設の修復に向けて、県が設置した「能登半島地震復興基金」を活用すると聞いている。県との調整状況について伺う。また、補助率は、熊本地震の制度では、補助率は経費の1/2、上限は1,000万円であったが、本市ではどうなるか。

**A6** 県からは、市町ごとの財政状況等により、支援水準に差が生じないよう、市町独自の支援拡充などは原則できないとの方針が提示された。補助率は、熊本地震よりも引き上げ、補助率3/4、上限1,200万円とされたところである。(村山市長)

**Q7** 対象の施設や事業はどうなるのか、また、自主的に修復を進めている施設もあると聞くがその場合も、補助の適用は可能か。

**A7** 補助対象や修繕後の補助申請は、これも熊本地震と同様の運用がなされると考えている。詳細については今後県より示される。(村山市長)

## 金沢スタジアムへのアクセスについて

**Q8** 地元紙においてIRいしかわ鉄道東金沢駅の特集が組まれており、東金沢駅がツエーゲン金沢のホーム駅最寄り駅との記載があったが、北陸鉄道浅野川線磯部駅の方が近い。また、金沢スタジアムのホームページには、磯部駅の記載がないが、理由について伺う。



北陸鉄道 浅野川線 磯部駅

**A8** 磯部駅は構内の乗降スペースが手狭であること、また輸送力の問題など安全対策上の課題があることから、指定管理者や交通事業者、警察などを協議した結果、利用を推奨しないこととしたため、ホームページ上でも記載しなかった。(津田文化スポーツ局長)

**Q9** みなし上下方式採用予定の浅野川線の絶好の機会であるJリーグの試合日に利用を推奨せず、コストがかかる金沢駅発の無料バスを準備している考え方は疑問を感じるがどうか。また、Jリーグの試合日の公共交通機関の積極的な活用を促す施策を伺う。

**A9** 磯部駅はホームの幅が狭く、後ろには民家が立ち、逆側も堤防が近く、線路をどちらにも動かすことができないことから、東金沢駅の利用を推奨している。IRいしかわ鉄道では、東金沢駅の列車到着メロディに公式応援歌導入、電車や駅舎などの撮影投稿キャンペーン、北陸ダービー応援一日フリー切符発売など、利用促進を図っていただいております。引き続き連携をとりながら、公共交通の利用を促したい。(村山市長)

**Q10** 鉄道駅からスタジアムへの道のりは、試合やイベントの期待を高める重要な要素である。他のスタジアムでは、歩道のフラグ、のぼり、看板、カラーリングや文字の敷設、デジタルサイネージなど事例もあり、これらを提案するが、市長の考えを伺う。

**A10** 公共交通の利用促進の観点、さらにはサポーターのわくわく感や満足度を高めるといふことでよい提案だと思っており、ツエーゲン金沢とも連携を図りながら、考えてみたい。一方で、地元との合意形成、道路安全性の確保、さらに、景観上の問題もあり、これらに配慮しながら、先進地の事例も参考に、効果的な方策を研究したいと考える。(村山市長)

## 本市デジタル戦略とデジタルカードアプリカナカについて

**Q11** 本年3月に金沢デジタルカードアプリ カナカがリリースされた。マイナンバーカードを活用したサービスであり、現時点、金沢市の図書館カード

など3種類のカードが電子化され、非常に便利なアプリである。一方で、アプリダウンロード数が伸びていない。SNS等もう周知や広報を検討すべきと考えるがどうか。



**A11** アプリの登録時にマイナンバーカードによる本人認証が必要で、操作手順などを直接丁寧に説明するため、窓口での周知を優先しており、現在SNS等を使った広報はしていない。今後は、窓口での広報に力を入れつつ、アプリ機能の充実とともに、適切な方法での広報を検討していきたい。(川畑総務局長)

**Q12** 今後のこのアプリの展開について3点伺う。①対応カードを増やす予定、②未実装のポイント機能の追加予定、③自治体が発行するカードやポイントは、県や近隣自治体、場合によっては民間サービスとの連携も非常に重要であるが、その考えはあるか。

**A12** ①カナカはカードの券面や会員番号とのバーコードの表示が可能であり、サービスの提供可能なカードを順次取り込んでいく。②ポイント機能は、県内自治体の導入状況等も踏まえながら慎重に検討を進めている。③県や近隣自治体との連携は、市民の利便性の観点からも重要であり、県の広域データ連携基盤の活用も検討していきたい。(川畑総務局長)

**Q13** 能登半島地震で、避難者の受付に課題があったと認識している。このアプリが災害時の避難所の受付に活用ができるのではと考えるがどうか。

**A13** カナカはマイナンバーカードを認証基盤に持つことから、避難所の受付に利用することは可能である。一方、昨今は、受付対応のほか、避難所位置、混雑状況の確認機能や、避難者名簿作成や集計機能などがついたアプリも登場している。能登半島地震課題検証会議の結果も踏まえながら、迅速な受付が可能となるような仕組みを検討したい。(川畑総務局長)

## 本市施設入場料の「二重価格」導入について

**Q14** 観光地の入場料を地元住民と観光客で異なる価格とする二重価格の導入の議論が姫路市などでされているが、本市の導入に関して、市長の考えを伺う。

**A14** 観光資源の維持、オーバーツーリズム対策の財源確保を目的にして、訪日外国人が支払う観光地の入場料やサービスの価格を、日本人より高めに設定するという二重価格について、現在官民間問わず様々な議論が行われている。その中で、導入については、差別につながるという指摘、イメージの悪化の懸念、対象者を確認する際の事務負担増といった課題が多いと認識しているが、一方では、施設の運営にかかる負担の適正化という観点からも検討が必要と考えている。まずは、他都市の動向を注視したい。(村山市長)

